

課題

- 水資源の有効活用
- 集落の持続的な活性化
- 過疎・高齢化による地域の知恵、文化、伝統技術の喪失
- 子どもたちへの環境・芸術の発信



調査事業の概要

○水源保持・地域の特色発信

- ・水源保持
生活の象徴＝未来をつなぐ
⇒ 除雪等へも活用

- ・太鼓のオブジェ制作
来訪者・伝統工芸・集落の3つの力で動く
⇒ 新聞等でも掲載され、話題に

○子どもたちへの伝統文化の伝承

- ・さっぺし作り体験 ⇒ 地元の方が講師となり、アート以外
- ・ちんころ作り体験 ⇒ 外の来館動機に

○多様なネットワークによる交流人口増幅

- ・田島征三氏
- ・友の会会員
- ・集落住民

⇒ ネットワークを活用した広報・交流と連携

- ・友の会通信
- ・友の会交流会

実現を目指していく地域のイメージ

集落 - 田島征三 - 絵本と木の実の美術館



- 集落の問題解決
- 持続的な活性化
- 文化・伝統の継承

対応策の提示

- <これまでのノウハウ、対応策>
- 田島征三氏のネットワーク活用
 - 大地の芸術祭の発信力活用

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

- 美術館の核となる田島征三氏との定期的な会議の場
⇒ 話題性の絶えぬ運営へ
- 後方の役割分担・田島征三氏のコネクション・関係者のネットワークの把握
⇒ 広報の拡大へ
- 水源保持
⇒ 集落で活用することで、集落資源として再認識
- さっぺし作り体験等の記事掲示・地域外への体験案内
⇒ 藁細工などの伝統技術の職人発掘へ

<今回の調査により得られた新たな課題>

- 全国的知名度向上 ⇒ 多様なネットワークを駆使した広報、メディア露出、外部への積極的な営業活動
- 友の会交流の継続 ⇒ 新鮮な会となるよう、常に内容を工夫した会に

